

都市整備

鷹の台駅のバリアフリー化を 早急に進めてほしい

立花隆一議員(公明) ①西武
鉄道との協議の内容は。

②地下自由通路エレベーターが設置されるまでの間、当面の対応を検討できないか。

市長 ①将来の橋上駅構による自由通路の設置を見込んだ駅構内のバリアフリー化は、配置や用地の確保等の可能性を、中央公園西口通路へのエレベーター設置は設備や工事の影響等を、橋上駅構による東口対応は、用地確保等の可能性を協議した。

②エレベーターの設置によるバリアフリー化を優先的に検討している。

川里春治議員(政和) ①花小金井ルートの試行運行時期は。

②ルート決定のプロセスは。

③予算の内訳は。

市長 ①平成20年秋から6か月



間行う予定である。

②大沼町地域の実証実験運行の経過を踏まえ、国、警察、関係事業者等と調整しながら大沼町・花小金井地域コミュニティタクシーを考える会で判断する。

③美園町の一部と大沼町、花小金井地域に対し、1年間で約5百万円の運行経費補助を想定している。

美園・大沼町でのコミュニティタクシー実証実験運行について

宮崎昭夫議員(政和) ①路線を決定した手順は。

②なぜ路線から多摩済生病院と公立昭和病院を外したのか。

③本運行の目安は。

市長 ①大沼町・花小金井地域コミュニティタクシーを考える会の中で協議し、運行事業者等関係機関と調整して決定した。

②居住者専用道路という交通規制と、既存バス路線との乗り継ぎを考えて決定した。

③大沼町・花小金井地域で6か月間実証実験した後、運行結果を検証し、考える会で協議して判断する。

コミュニティタクシーの試行運行 と他の3地域の実施について

鴨打喜久男議員(政和) ①他の3地域をどう進めるのか。

②大沼町と花小金井地域を統一して循環運行しては。

③運行の責任主体は。

市長 ①機運の盛り上がった地域から順次検討を始める。②路線が長くなり利便性にマインスマもあるため、各地域で

実証実験することにし、その結果を検証して判断したい。

③大沼町・花小金井地域コミュニティタクシーを考える会が発展した協議会組織、運行事業者と小平市の三者で運営することが望ましいと考える。

交通不便地域の解消策は 進んでいるのか

津本裕子議員(公明) ①各地域において1つのルートで進めない場合が想定されるが対応は。

②検討が進んでいない地域にどうかかわっていくのか。

③青梅街道幹線軸の現状は。

市長 ①事業者が路線の新設等を要望しながら、考える会の中で運行システムを協議し、国等とも調整していく。

②生活交通の確立には地域の支えが不可欠で、機運の盛り上がった地域から取り組みたい。

③運行事業者と調整をしていきたいが、地域内の生活交通の確立が重点課題と考える。

あかしあ通りを中心とした 公共交通体系について

浅倉成樹議員(公明) ①民間バス路線に対する認識と、路線復活への取り組みは。

②にじバスの運行経路の一部変更や復路延伸はできないか。

③にじバスを地域の協働力で走らせるシステムづくりは。

市長 ①西武バスが路線を変更して再編を図ると聞いている。各事業者へは路線の新設や変更等の要望や調整をしている。

②平成20年度からフォロアップ調査の結果を踏まえたシステムで運行したい。

視野に入れ協議したい。

計画が未定の地域へのコミュニティタクシーなどの検討を

橋本久雄議員(緑ネ) ①1地域に5百万円という財政負担を1路線に変更しては。

②小川町や上水南町などの地域で検討を開始できないか。

③国分寺市のぶんバスを、都営上水南町一丁目アパートまで延伸するよう働きかけては。

市長 ①実証実験運行の結果を踏まえ、判断していきたい。

②機運の盛り上がった地域から取り組んでいきたい。

③国分寺市と話し合う場を設けた。

道路

二中通りの 安全対策について

山岸真知子議員(公明) ①小川駅通りから富士見通りまでを一方通行にする考えは。

②この区間をスクールゾーンに指定する場合の課題は。

③第二中学校南側歩道上の電柱は移設要望があったが対応は。

④二中通り(小川東町一丁目)



市民を守る、土地利用の 小平モデル創出のために

虹川 浩議員(公明) ①(仮称)地区計画等提案型まちづくり条例は何を目指すのか。

②高き制限を一律にしない柔軟な規制は可能か。

③初期段階での市の助言を強化できないか。

市長 ①都市計画マスタープランに示したまちづくりの方針を表現することである。

②地区ごとに高さを規制することは可能と考える。

③都市計画マスタープランの方針を越えての指導、助言は困難と考える。

市長 ①小平警察署からは迂回路の確保が必要と聞いており、現状では難しいと考える。

教育長 ②西武国分寺線等を東西に渡る通過交通の路線が少な

いことから困難と聞いている。

市長 ③移設箇所の優先順位等を考慮した上で検討したい。

自転車事故の防止のために 自転車安全利用条例の制定を

山岸真知子議員(公明) ①母親への安全教育に対する考えは。

②自転車利用者が利用しやすい道路建設が必要では。

③自転車安全利用条例を制定しては。

市長 ①平成20年度から自転車ルールブックを市立小学校1・2年生に配布する予定である。子どもに読み聞かせをする形になっており母親もルールとマナーを再認識するものとする。

③現在は考えていないが、引き続き制定している自治体の制度効果等を検証したい。

交通安全対策は 弱者優位の発想で

日向美砂子議員(緑ネ) ①法改正により市の方針に変化は。

②たかの街道のように危険が指摘される道路に対する、弱者優位の視点に立った具体策は。

③交通安全対策について市民とともに話し合う場合は。

市長 ①これまでの方針を堅持するとともに、住民要望等を生かして対策に努めていく。

②歩道上の電柱の除去や段差の解消などに努めていく。

③交通安全対策協議会で話し合うほか、保護者を交えて通学路の安全点検をしている。

人と自転車の 安全のために

佐藤 充議員(共産) ①人、自転車、車の安全確保策と今後の方針は。

②青梅街道の小平消防署前から小川町交差点の区間に、自転車専用レーンを設置する考えは。

市長 ①歩道や防護さく等を整備し、ルールやマナーを遵守するよう啓発している。歩道整備が困難な箇所は通行区分を明確にするほか、自転車の安全利用を促進していく。

②道路管理者である都に伝えるとともに、世田谷区等の実例結果を検証していく。

野中通りの 雨水工事等について

川里春治議員(政和) ①雨水工事期間中に民間の工事も周囲

には多いが、期間が重ならないよう規制できないか。

②雨水工事にあわせ、L型側溝を設置した道路工事ができないか。

市長 ①下水道工事のように道路を広範囲に掘削する工事は、年4回の道路調整会議で調整しているが、マンション等の工事は掘削が小規模であるため規制などは困難と考える。

②雨水管整備工事の完了後に車道の舗装工事を行う。L型側溝の設置などは、今後実施時期などを検討したい。

上宿小学校の 通学路の改善を

立花隆一議員(公明) ①上宿小通りの電柱の移設は。

②小平上宿小前交差点には自転車専用と通常の信号機があるが、安全な通行方法は。

③この交差点から東京電力多摩変電所までの通学路の指定は。

市長 ①移設箇所の優先順位等を考慮し検討したい。

②自転車は自転車専用、歩行者と自動車は歩行者用、車両用信号機に従うと安全に通行できると小平警察署から聞いている。

教育長 ③通学児童数もふえ、課題も解決したので指定を考えていると学校長から聞いている。

小川駅通りの改良工事の 引き続きの実施について

西 克彦議員(共産) ①工事が進まなかった理由は。

②解決に向けての取り組みは。

③今後の見通しは。

市長 ①道路境界線と道路構造物の位置に不整合があったため、工事の発注を中止したと都から

聞いている。

②過去の経緯等を調査し、道路境界を確定したいと都から聞いている。市は、工事が早期に実施できるよう協力したい。

③問題が整理され次第、舗装等の補修方法を検討し、工事に取いかかると都から聞いている。

青梅街道の花小金井地域の 交通安全対策について

川里春治議員(政和) ①科学館通りとの交差点は、鋭角にな

ついで危険である。また、小平合同庁舎交差点や小金井街道との交差点は、ブロック塀等で見通しが悪いが対策は。

②野中東通りとの交差点は電柱が歩道に出ているため危険だが対策は。

市長 ①交差点で事故を回避するためには十分な安全確認が必要であり、確認を促すための安全策を都に要望したい。

②電柱を移設する等の対策を都に要望したい。

小平市の安全・安心・快適な 歩道設置の基準について

藤原哲重議員(フオ) ①設置や設計の基準はあるか。

②たかの街道のような狭い道路に、狭くて1段高い歩道は必要か。

③段差や落差をなくし、歩道を車道と同じ高さにはできないか。

市長 ①市独自の基準に基づき道路構造令や都の基準に基づき整備している。

②車両の飛び込み防止、歩行者が緑石の幅まで使えるなど効果的な一面もあると考える。

③道路幅員等の状況に応じて検討したい。